

# News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和2年4月

暖かな春の日ざしがなによりうれしい季節となりました。皆様おかわりなくお過ごしでしょうか。さっそく Newsletter 第26回配信です！ どうぞお楽しみください。

## 〈 診療科紹介 緩和ケア科 〉

大学病院では珍しいかもしれませんが、自治医科大学附属病院には緩和ケア病棟が17床あり、緩和ケア医、精神科医、麻酔科医、歯科医、看護師、薬剤師、臨床心理士、ソーシャルワーカー、管理栄養士、作業療法士、歯科衛生士等がチームで活動しています。

患者さんがその人らしく人生を全うできること、患者さんのQOL（生活の質）をより高い状態に保つこと、さらには尊厳ある終末を迎えることができるよう、疼痛管理を含めた緩和医療を提供しています。当科をローテートすることで研修医は、疼痛を初めとする諸症状の緩和・コミュニケーションスキル・予後予測等を多面的に研修できます。大学病院ゆえコモンな疾患から稀な悪性腫瘍まで、多種多様な病気をかかえた患者さんに寄り添い学ぶ機会があります。写真はある日の多職種カンファランス参加者です。



## 【医師国家試験予想問題】

- 62歳の女性。2週間からの腰痛を主訴に来院した。乳癌の多発骨転移のため緩和ケア外来を紹介した。意識は清明。身長150cm、体重38kg。体温37.4℃。脈拍96/分、整。血圧100/62mmHg。呼吸数20/分。下位腰椎に叩打痛を認める。血液所見：Hb 10.5g/dL、白血球8,000。血液生化学所見：総タンパク6.7g/dL、アルブミン3.5g/dL、BUN10mg/dL、Cr0.6mg/dL、総ビリルビン1.9mg/dL、AST338U/L、ALT555U/L、LD970U/L（基準176~353）、ALP1,430U/L（基準115~359）、 $\gamma$ -GTP1,438U/L（基準8~50）、Ca9.6mg/dL。

まず使用する治療薬として適切なのはどれか。

- a シクロフェナク
- b アセトアミノフェン
- c フェンタニル貼付薬
- d ビスホスフォネート
- e デノスマブ

正解：a

**設問の狙い：**乳癌の骨転移で主訴は腰痛である。下位腰椎に叩打痛があり、骨転移による痛みと考えられる。痛みの強さに関する情報がないが、主訴として来院しているということは軽度ではなさそうである。2週間前からのということで、今回が初めて痛みに対応することとなる。体性痛と考えられる上、鎮痛薬としては、いきなりオピオイドから始めるのは原則に反する。ただし、最初に出した薬剤の効果を早々に確認して、無効であればすぐに切り替えることも大切である。なお、血液検査データでは肝機能異常があり、肝転移とその増大があっておかしくはない。

**選択肢解説：**三段階ラダーの1段目を何か使っているという記載がないので、まずは、非ステロイド抗炎症薬（NSAIDs）かアセトアミノフェンを用いるべきである。ただし、肝機能が悪いのでアセトアミノフェンは使いづらい。腎機能はよいので、まずはNSAIDsのシクロフェナクでよい。次はコデインなど弱オピオイドか強オピオイドの最低量の即効薬の効き目をみていく。再評価するのは2,3日以内に。効き目のない、あるいは弱いものを使い続けるだけでは、症状緩和にならない。

- 70歳の女性。子宮体癌末期である。強い下腹部痛があり非ステロイド抗炎症薬（NSAIDs）では効果が乏しく、オキシコドン徐放錠5mgを12時間毎に内服開始した。しかし、痛みが緩和せず、オキシコドン速効細粒2.5mgを1日に8回用い痛みが緩和されている。意識は清明。体温36.8℃。脈拍88/分、整。血圧108/78mmHg。血液生化学所見：Cr1.8mg/dL。

定時使用するオピオイドとして最も適切なのはどれか。

- a モルヒネ徐放錠 30mg/日
- b オキシコドン徐放錠 30mg/日
- c モルヒネ持続皮下注 15mg/日
- d オキシコドン持続皮下注 15mg/日
- e フェンタニル貼付剤 100 $\mu$ g/時換算

正解：b

**設問の狙い：**オピオイドの用量調整の問題。もとの量に①レスキュー総量を加えるか、②3~5割の増量が原則である。オピオイド・スイッチングの選択肢は、いずれも等量を計算してみれば、オキシコドン徐放錠、フェンタニル貼付剤を除き、おおよそモルヒネ内服30mg/日相当で過少である。なお、フェンタニル貼付剤は100 $\mu$ g/時 $\times$ 24時間で2.4mg/日なのでモルヒネ内服240mg/日相当となり、かなり過量である。また、腎機能障害があるので、モルヒネは不適である。

**選択肢の解説：**痛みが強いので、レスキューが定時量の2倍に達している。したがって、3~5割増量では過少である。オキシコドンが内服できているので、現時点では注射のオキシコドンを含め他剤に変更する必要はない。よって、 $5 \times 2 + 2.5 \times 8 = 30$ でbが正解。